

県下の交通事故 (11月30日現在)

区分	事故件数	死者	傷者
56年	3,468件	78人	4,508人
55年	3,520件	120人	4,576人
比較	-1.5%	-35.0%	-1.5%



◇ 第 54 号 ◇

発行所
甲府市丸の内一丁目6-1
財団法人山梨県交通安全協会
TEL 甲府 (0552) 37-7827

年末年始の交通安全県民運動

12月20日～1月10日

無事故で明るい新年を

年末年始は、交通量が増加し、また、飲酒の機会が多くなることなどから、交通事故が多発することが予想されます。このため、県交通安全対策本部・県交通安全推進協議会の主催により、十二月二十日から一月十日まで「年末年始の交通安全県民運動」が実施されます。

最近県下の交通事故死者は、前年に比べ減少しているものの、十一月にはいって激増し懸念されています。これ以上死者をださないように県民総ぐるみでこの運動に参加し、お互いに交通事故防止につとめましょう。

飲酒運転しない させないわが家でも

- 運動の重点**
- 1 子供と老人の交通事故防止
 - 2 飲酒運転の絶滅と夜間における交通事故防止
 - 3 安全運転の確保とシートベルト・ヘルメット着用の促進
- 交通安全教育、指導の推進**
- 1 道路環境の整備
 - 2 生活ゾーンの整備、道路不正使用の禁止、自転車の整理整頓につとめる
 - 3 交通安全教育、指導の推進
- 飲酒運転と夜間のスピードの出し過ぎによる事故を絶滅するために**
- 1 飲酒運転を「しない」「させない」「許さない」の三つの運動、酒類提供業者の協力、家庭・地域・職域における話し合い等の推進
 - 2 夜間のスピードダウン



降雨降雪時はスリップ事故が多い



安全のため

交通安全事故を減らすためには、人々の努力がいかんにかかっていなければならない。だが、過去九年連続した交通事故死者の順調な減少がストップし、増勢に転じた。交通安全教育の重要性が、これからの交通安全対策の要因として、改めて注目されている。交通安全教育の重要性が、これからの交通安全対策の要因として、改めて注目されている。

これからの運転者教育(1)

警察庁交通企画課長 福島 静雄

運転者とは、極めてメンタルな作業であるうえ、人格、知性とも強く結びついている。それだけに、誇り高く自己の強いこの万物の霊長に対する教育というものは、正しい知識を持たせておくだけでなく、その知識を確実に実践させるまでの責任を負わなければならない。だが、運転者五千万人の時代へ向かい、改めて運転者教育への期待が強まっています。

昭和57年 交通安全年間スローガン ——最優秀作——

危険です
寝不足 積み過ぎ 飛ばし過ぎ

歩行者・自転車向け
だいたいようぶ
でももう一度 右左

運転者向け
あぶないよ
車が見えない まがりかど

- 1 夜間前照灯の上下切換の励行
 - 2 シートベルト着用の推進
 - 3 広報活動、地域ぐるみ着用運動の推進
 - 4 自転車の灯火・反射器材の点検整備
- 安全運転の確保とシートベルト・ヘルメット着用の促進**
- 1 運転者・同乗者に対する指導教育の徹底
 - 2 安全運転の基本走行安全確認、車両の点検整備、企業内管理、社会的責任の自覚、「思いやりの心」「ゆとりとゆずりあい」の呼びかけ指導等の推進
 - 3 交通環境の整備と指導取締りの強化
 - 4 死亡事故防止対策の徹底を図るために
- 街頭指導の徹底と取締りの強化**

見せている現在、限界いっぱいの実効をあげ得るよう機械的な教育の内容、方法の再開発には、全力で取り組まなければならない。そこで、運転者再教育に重点をおいて、教育の活性化を図るための研究ポイントを考えてみると、それは、運転をナマの人間行動としてとらえ、その中でどのような行動上のエラーが交通事故の要因となるかを把握すること、次いでその把握結果をよりどころに運転に伴う危険回避の具体的な方法をリアルに教えられるようにすることである。

交通事故は、運転行動中の外界との調整エラーによって起る。運転者を主体として、走行中における周囲の交通条件のめぐる白い流動と、それに對する自分のヨミの誤り、判断の安易さ、操作ミスとの相互作用で起るものである。その心理的、生理的要因

まで加わった裸の運転行動と、それによる事故発生との因果関係のメカニズムをダイナミックにとらえるとともに、どのような行動をとれば事故という結果を防ぎ得るかを解明して、実践的で即物的な安全運転のノウハウをまとめなければならぬ。

交通安全法は、通行する人と車両、車両相互の関係を調整するルールとして、特に優先関係を律するルールとして重要である。だが、ルールの重要さを強調するあまり、ナマの人間行動上にははなれただけで満足してはならない。さかのぼってその根底にひそむところのルールを破るに至った行動上の真因を、自然科学的につかむことが大切なのである。(以下次号)

(人と車5月号より転載)

新規運転免許証の即日交付

一月二十日から実施

県警察本部では運転者の利便を図るため、運転免許証の即日交付を次のように行います。来年一月二十日から実施するものは、公安委員会が指定された自動車教習所を卒業し技能試験が免除される方で、学科試験および適性試験に合格すると合格当日、免許証が交付されます。

うっかりして、免許証の更新を忘れてから六か月以内であれば、視力などの適性試験に合格すると新しい免許証を申請当日交付されます。なお、即日交付(一月二十日)以前に指定自動車教習所を卒業し公安委員会の試験に合格した方、および、うっかりして免許証を失効し申請手続をしてある方には、一月十九日までに免許証を交付します。

亡失、盗難等により免許証の再交付を受けようとするときは、住所地の警察署に届け出を行い、即日交付を希望する方は、関係書類の交付を受け翌日午前九時三十分までに運転免許課(安全運転学校十番窓口)へ提出しますと、当日交付が受けられます。

警察署で行っている原付免許および小型特殊免許試験に合格された方は、従来どおり警察署で交付を受けることとなります。

更新免許証については、昭和五十八年一月から安全運転学校または都留分校で免許の更新をしますと、講習終了後新しい免許証を交付する予定です。

なお、原付免許、小型特殊免許および身体障害者、妊産婦、六十才以上の方で警察署で免許更新をされる方には、従来どおり警察署で交付します。

(県警運転免許課)



あいさつする菊岡県警本部長

交通安全功労者・優良運転者

446人と23団体表彰

優秀賞は小笠原安協

90人に交通荣誉章

県警本部と県交通安全協会主催の昭和五十六年度交通安全功労者、優良運転者等の表彰式が、十月三十日県農業共済会館大ホールにおいて、県知事（代理石川県民生活局長）はじめ、多数の来賓臨席のもとに、盛大に行われました。

表彰式は、まず全員で交通事故犠牲者に対する追悼の黙禱を捧げ、菊岡平八郎県警本部長と、国会開会中のため出席できなかった中村太郎安協会長に代わって、河西定男安協副会長があいさつをしたあと、表彰が行われました。

受賞者は、多年にわたり



優良交通安全協会表彰の受賞

交通安全活動に積極的に行い、交通事故防止に功績のあった交通安全協会や、功労のあった役員、多年にわたり交通安全活動を積極的に行い、交通事故防止に功績のあった交通安全協会や、功労のあった役員、多年にわたり

安全運転の技を競う

初の女性バイクコンクール

山梨県警本部と県交通安全協会主催による初の女性バイク安全運転コンクールは、秋の全国交通安全運動の行事の一つとして、九月二十七日（日）県運転免

許センターで開催されました。このコンクールは、最近の女性のバイク利用者の急増と交通事故の増加傾向に対応して、特にファミリーバイク（原付車）の安全運転技術と交通マナーの向上により、安全意識の普及徹底と交通事故防止のために開いたものです。

県下の各警察署単位に選出された代表選手四十名が参加し、まずコンクールに先立ち、ことし八月行われた第十四回二輪車安全運転全国大会の女性クラスの部で全国優勝した守家清香選手の模範運転が披露され、続いて各選手が安全走行と技能走行の二種目に挑戦し、熱戦がくりひろげられました。

県下の代表選手の参加を得たこのコンクールは、バイクの安全意識向上と事故防止に大きく役立ったものと期待されていますが、さらにはこの輪をひろげるため次回からは、個人競技に団体競技を加えて実施することを検討しています。



初の女性バイク安全運転コンクール開かれる



稲葉嘉幸氏

稲葉嘉幸氏に 藍綬褒章

元県交通安全協会副会長、南都交通安全協会顧問の稲葉嘉幸氏（南巨摩郡南都町、七十六歳）は、十一月十九日、多年にわたって交通安全運動の推進、交通事故防止に尽くした功績により、藍綬褒章を受賞されました。



水口静男氏

水口静男氏に 勲六等単光旭日章

稲葉氏は、昭和五年南都交通安全協会の設立当初から理事となり、同安協副会長、会長、安協協理、同副会長を歴任し、現在南都安協顧問として五十一年余にわたり交通安全に顕著な功績をかさねて、交通荣誉章「緑十字銀章」と県政功績、警察協力章等多くの表彰を受けています。

無事故無違反で他の模範とされる優良運転者、多年職務に精励し功績のあった優良職員等で、その数は四百四十六人と、二十三団体に達しました。

受賞者の中には、母親活動を通じて地域の交通安全のために貢献した母の会や、女性ドライバーの会などの団体と、女性の交通安全功労者などが目立ち、その活躍ぶりがうかがわれます。受賞者は、次のとおりです。

- 関東管区表彰**
- 【交通安全功労団体】南甲府管内交通安全協会の連合会
 - 【優良運転者】早乙女康、長沼国男、清水昭一、遠藤和雄、遠藤武、雨宮繁隆、山県金治、天野
- 交通安全功労者「緑十字銅章」**
- 清水清富、小池幸春、雨宮正博、長田義満、青山康洋、島田三郎、今井純、佐久間定行、金丸豊、青木倫治、長田源作、中山孝一、長田幸二、山本一豊、長谷川力
- 優良交通安全協会**
- 赤池善行、秋山文男、杉山好史、八木吉治、遠藤辰雄、坂本学、角田俊彦、水口岩雄、三沢市雄、辻善磨、広瀬二三、奥秋次、天野弘光、森正久、山田正夫、湯山恒夫、和智健一、中原正雄、白井仁三、米倉功、村田きみよ、岩本みや子、
- 優良交通安全協理者**
- 北村辰男、小中沢春明、桜井健一、内田悦男、藤原利夫、
- 優良運転者**
- 小松雅三、諏訪田静、堤貞

- 男、上田貞政、小池清則、中嶋勇介、大森松男、秋山正雄、赤池良隆、鈴木一馬、宮下章、中村雅男、菅沢政春、風間隆、飯高恭一、宮本近雄、藤原和雄、谷沢吉一、西川正喜、水沢繁雄、吉沢博、羽村静雄、松沢常孝、佐藤利雄、野沢孝夫、新田敬一、諏訪本次郎、原田勝男、藤江薫、松川始、大森欣也、菅沼重男、小川金次、天野利夫、渡辺朗、小佐野健正、小池道広、井口友典、菅沼三郎、山咲久義、飯岡正一、山口慶三、荒井勇、橋本一雄、池田登作、飯島叶、守屋光雄
- 優良功労者**
- 須賀信一、藤巻すみ江、宮野賢、古屋保男、佐野光男
- 交通安全功労団体**
- 甲府交通安全協会中央支部、わかば幼稚園、山城地区連合自治会、須玉町女性ドライバーの会、株式会社保谷電子、茂倉道路愛護会、南都交通安全協会の会身
- 交通安全功労者および優良交通安全協会**
- 【優秀賞】小笠原、優良賞、市川、石和、上野原、飯島、【創意賞】甲府

新規購入 映画の紹介

県安協では、新しく次の映画を購入しました。無料で貸出します。ご利用ください。

- 一九ちゃんの交通安全
- みちのわたりかた
- 16ミリ、カラー、18分
- 幼児・小学校低学年向け

この映画は、交通の危険を知らない子どもが、ある日交通安全標語をしゃべる九官鳥とめぐりあい、お母さんが、これを機会に正しいみちのわたりかた等を教えるというもので、おとなに対して、幼児や子供への交通安全教育の大切さを訴えています。

二 「交通安全漫画」とびだすなクバンちゃん

16ミリ、カラー、14分

幼児・小学校低学年向け

幼児や小学校低学年の交通安全で、一番多いのは「とび出し」による事故です。可愛いバンダちゃんを登場させ、子ども達にそうした危険にあわないために注意することをわかりやすく描いています。

第23回県下中学生交通安全弁論大会

数野美緒さんが優勝 代表17人が熱弁ふるう

県交通安全協会、NHK甲府放送局、交通山梨新聞社主催の第23回県下中学生交通安全弁論大会は、さる十月十三日NHK甲府放送局で行われ、県下各地区予選を勝ち抜いた十七名の選手が、日ごろ考えていること、また身をもって体験したことなどを七分の持ち時間で発表しました。



第23回県下中学生交通安全弁論大会

審査の結果、「事故ゼロへの道・愛が原点」と題して、人間尊重の愛の心を強く訴えた甲府市立北東中三年の数野美緒さんが優勝し、栄えある優勝旗と知事賞を受けました。

【優勝】知事賞 数野美緒(甲府北東) 【準優勝】県議長賞 鶴田由紀(山梨南) 県警本部賞 片岡可恵(塩山) 県教育長賞 太田孝生(石和) 【優秀賞】甲府市長賞 保坂仁美(甲府北東) 以下出場順 野田泉(巨摩) 川原弘子(身延) 三神代(泉) 三浦咲子(西沢) 和田一美(富坂) 杉本洋幸(秋山) 小高圭子(甲府南) 古瀬村圭子(上野原) 藤原とめほ(増富) 望月真木(鰍沢) 鷹野恵(甲府西)

交通安全キャラバン隊に参加

全国交通安全母の会連合会の全国キャラバン隊は、全国各地に母親の手に乗るキャラバン隊を派遣し「みんなですすめる交通安全」をテーマとしたキャンペーンを展開しています。このキャラバン隊は全交母の広報車を先頭に二台のバスに分乗して出発し、二十六日までの三日間県下各地をキャラバンし、特に竜王、市川、富士吉田、日下部、竜岡の各地では、母と子の交通安全教室、母親大会、お年寄りの交通安全教室等、多彩な行事に参加し、八月二十六日午後長野県富士見町役場前で長野県交母に引き継ぎ、盛会のうちに県内コースを終了しました。



県交母が交通安全キャラバン隊に参加

交通安全の啓蒙活動として、小笠原警察署(笠井志雄署長)、小笠原交通安全協会(藤巻健吾会長)は、交通少年団の結成を促進し、小中学生の交通安全意識を高めて事故を防止するため、

郡御形町の老人福祉センターにおいて贈呈式を行い、管内の六中学校と十三小学校に対し、団旗八七七本、腕章五〇〇枚、ワッペン九四五枚を配分贈呈しました。各学校では、学童による交通事故防止活動を進めることとしました。

師匠が登場し、古典落語を中心に交通安全の実態をとりあげながら事故防止を訴え、アンコールにこたえて「どどいつ」や小唄も披露し聴衆の喝采を博しました。「交通安全の趣旨を徹底させるに趣向をかえては」と落語家の登場となりましたが、笑いの中で交通安全意識の高揚は大きな効果がありました。



落語で交通安全を訴える

「ゆっくり走ろう 山梨県」「みんな守ろう交通安全」こんなステッカーを車に張りながら、制限速度を何キロもオーバーして走っているドライバー。わき見運転、速度オーバー、信号無視など、ルール無視のドライバーがしばしば見られます。交通事故が連日発生し、交通事故という言葉を聞いても、あまり驚かないような悲しい恐ろしい毎日です。

その家族の悲劇を決して忘れてはなりません。七月三十一日、早川町で起きたジープの転落事故は子供クラブの行事で出かけた一家の両親が即死、子供二人がけがをして入院という無残なものでした。夏休みの行楽が、一転して暗く悲しい事故になってしまったのです。

ふりかかってくる危険性がいつかはあります。交通安全の取り締まりをしていくからという理由でルールを守るだけでは、決して本当の交通安全とはいえず、取り締まりに頼るようではありません。スピード違反やわき見運転、酒酔い運転など、事故を起こす大人たち

点を落とす、というのは、偽りの交通安全です。人に見つからなければルールを無視する、という心が私は憎いのです。はすかしの靴です。自分に対して、家族に対して、他人に対してのあたたかい人間性、愛情があるかないかの問題です。道ばたに咲く小さな草花、緑の木々、私達の山梨は美しい自然でいっぱいですが、その自然を愛する人間でなければ、人間を愛することはできません。

豊かな物質文明は、人の心や健康を犠牲にしてまで物中心の社会をつくってききました。人間の生命が尊重されないような社会は平和な社会とはいえません。今年国際障害者年として、

事故ゼロへの道・愛が原点

甲府北東中三年 数野美緒



一瞬のうちに両親をなくした二人の子供はこれからどうやって生きていくのでしょうか。病院のベッドで天国にいる両親に「二人仲良く力強く生きていきます」と誓ったという新聞記事に私は涙を押しさえることができませんでした。

交通事故は他人事ではありませんが、明日は我が身にやってくるかもしれません。明日は我が身にやってくるかもしれません。明日は我が身にやってくるかもしれません。

「事故を起すことにはならない」ということは、だれもがわかっているはずですが、それができていないのは、安全協会の方がたも、またマスコミ機関でも事故防止運動や安全教育に努力を傾けています。

しかし、交通事故は、いかに減少しませんが、警察に頼るだけでは、人間尊重の愛が原点

「朝のどけに愛のひとこと」を合言葉に、事故防止の主人公は、ひとりひとりの国民なのです。ひとりひとりの安全意識に裏付けられた行動によって個人の安全という「小さな平和」が守られるのです。「ドライバー歩行者を問わず、人間尊重の愛の心」を強く持つことが、交通事故を減らす決め手だと信じます。

小中学校に団旗、ワッペン、腕章を贈ることとしました。さる九月九日、中巨摩無保険車運行には違反六点が付き、直ちに免許停止となります。とくにバイクは、ご注意ください。

**山梨県交通安全協会会員の
ための災害共済のお奨め**

万人は一人のために 一人は万人のために

※ 保険会社の職員が内容説明に伺います

提供団体 山梨県交通安全協会

引受会社 **協栄生命**

甲府市丸の内三丁目20-3
TEL 0552(22)4836(代)

納涼落語の夕べで交通安全 非 崎 非崎警察署(太田栄造署長)

交通事故ゼロの願いをこめて、昭和五十七年に使用する「交通安全年間スローガン」が決まりました。三部門の最優秀作品(一面掲載)と佳作は、次のとおりです。このスローガンを行動に移し、交通安全運動を大きく前進させたいものです。

佳作(全日本交通安全協会会長賞)

〇運転者向け

慣れた道 思わぬ事故の 落とし穴
飲みません 車ですから
まずゆとり 車社会の合言葉
なれた道 気のゆるむ道 事故の道
運転は 無駄なく無理なく 油断なく
おもいやり 車社会の 第一歩
思いやり 乗るも歩くも 同じ人
事故を呼ぶ 疲れイライラ 気のあせり
安全運転 一人ひとりが みな主役
大丈夫? その運転で スピードで

〇歩行者・自転車向け

一秒を あせる一歩が 事故招く
止まる 待つ ゆずるの三つが 身を守る

昭和57年交通安全年間スローガン

手をつなく 母子にっこり 青信号
飛び出しを しない約束 ぼくとママ
良い横断 まずお手本を あなたから
あわてずに 無理な今より 次の青
止まる見る なお確かめる そのゆとり
飛び出しが 子供の事故の トップです
あぶないよ あのかど このかど まがりかど
あぶないよ ひとこと よその子どもにも

〇子ども向け

ぼくたちが お手本しめそう 交通ルールノ
わたる時 たすけてあげよう おとしより
あぶないよ 車のすぐ前 すぐ後ろ
お母さん バイクに乗るなら ヘルメット
あぶないよ シャだんきおいたら くぐらない
行っちゃえと あせる心が じこのもと
やめましょう 自転車曲乗り 二人乗り
あぶないよ よこひろがりの 登下校
いってらっしゃい 今日も一日 安全運転
まがりかど いそいでびっくり ああこわい

団体、個人2クラス
山梨が初の優勝
二輪車安全運転全国大会



二輪車大会で初の全国一となった本県選手団

第十四回二輪車安全運転全国大会は、去る八月二十二、二十三日の二日間にわたって三重県鈴鹿サーキットにおいて行われました。本県からは、山梨県大会で優秀な成績をあげた、女性クラス(五〇〇C以下)東八代郡御坂町看護学生守家清香選手、高校生クラス

(二二五C以下)東八代郡石和町 高校生植村勝選手、一般Aクラス(四〇〇C以下)甲府市横根町 大学生小林公一選手、一般Bクラス(四〇〇C以上)中巨摩郡玉穂村 公務員田中秀明選手の四名が参加し、各都道府県の地方予選で選ばれた選手百八十余名と

法規履行走行、技能走行の技を競いました。本県選手は、荒天にもめげず終始すばらしい腕前を披露し、その結果、女性クラスで九二、五点の高得点をあげた守家選手と、一般Aクラスで同じく小林選手が見事優勝し、高校生クラスで初出場の植村選手が四位に入

交通安全を守って

西島小学校六年

笠井淳子



私が交通安全のために一番気をつけているのは信号を守ることです。ときには、車がおらないときにわたってしまったりはありますが、だいたいはちゃんと守っています。でもこの間、信号が青になったので、わたろうとしたとき、急にスピードを出して来た車が、信号をむしって目の前をとおりました。びっくりしました。私がまだ保育園にかよっていたころのことです。

す。保育園から帰り、そのあとすぐ学校へ行ってあそんでいました。そして、よそ見をして、校門を走り出たとき、バイクにぶつかってしまいました。うでをすこしばかりすりむいただけで、べつになんともなかったのですが、とてもこわかったです。その後、私はとび出しをしないように、まがりかどなどで、特に自転車にのっているときは一時停止をし、右左をよく見えていきます。

多くの女性も参加し、二〇人の受講生は、県警幹部等の二輪車安全対策や安全運転の講義に真剣に耳を傾け、また、経験豊富な特別指導員による実技指導要領を体験し、終始熱心に受講して、今後の活躍が期待される有為な受講生となりました。閉講式に先立って優良指導員として次の五名が表彰されました。(甲府)羽田光成、小沢栄治(富士吉田) 園田善明(都留)

真剣に受講する二輪車安全運転指導員

年末年始の運転免許更新について

運転者の皆さん、年末は何かと気ぜわしい時期ですが、免許証の更新を忘れないうちにお願いたします。安全運転学校(八田村)都留分校(都留市)および警察署の免許受付事務は、十二月二十八日午後から一月三日までは休みとなります。免許証の更新手続は、有効期間の満了する日(誕生日の)一カ月前からできますので免許証を確認し、休み中に有効期間が切れる方は、年内(十二月二十八日午前中までに)手続きをすませてください。うっかりして休み中に免許証の有効期間が切れてしまった方は一月四日には必ず更新手続をしてください。一月五日になりますと失効免許となり運転できません。免許更新料は、免許更新料(手数料)一枚、更新手数料など二、三〇〇円です。(県警運転免許課)

第15回交通安全写真コンテスト

第一部 清水利夫氏
第二部 県警高速隊

県交通安全協会主催、県警本部、山梨日日新聞社後援の第十五回交通安全写真コンテストは、八月三十一日をもって締め切りました。今回の応募は、第一部(一般交通安全写真)二十点、第二部(交通安全写真)四十七点が出展されました。最優秀賞には、甲府市朝日三丁目の清水利夫さんの作品「ねむくなったら、ひと休み」が、第二部では、県警高速隊の「まだ中に人が」の作品が入選し、金賞四点、銀賞四点、銅賞九



最優秀賞 第一部「ねむくなったらひと休み」清水利夫氏

二輪車の指導員講習を実施

県二輪車安全運転推進委員会(吉田文男委員長)は、十月二十三日、県運転免許センターで二輪車安全運転指導員講習会を開催しました。この講習会は、毎年二輪車指導員の資質の向上を目的として実施されています。特別に、原付車講習の充実と、安全指導体制を強化し事故防止を図るためこの七月準指導員九十六名を認定したので、今回の講習は、原付車指導要領を重点として行われました。新しく準指導員となつた

【銀賞】大柴力(妻崎)小林梅男(甲府)
【銅賞】岡田清(敷島)本間悦子(甲府)伊藤五夫(静岡)田中芳男(甲府)
【佳作】大柴力(妻崎)伊藤五夫(静岡)田中芳男(甲府)小沢正雄、清水利夫(甲府)
第二部
【最優秀賞】高速隊
【金賞】浅川昭三(竜王)近藤清(石和署)
【銀賞】高速隊、小松能正今津信也(山梨)
【銅賞】土屋正行(大月)高遠隊、望月誠(長坂)本間悦子、伊藤七六(甲府)中村文次(富士吉田)古屋正人(大月)高遠隊、神宮司憲(甲府)伊藤五夫(静岡)浅川昭三(竜王)笠井準人、渡辺茂(山梨)